

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課・宮崎県衛生環境研究所

## □ 宮崎県第9週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は1,926人（定点あたり40.7）で、前週比73%と減少した。

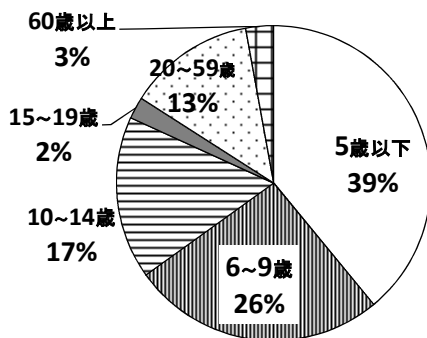
### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

前週に比べ大きく増加した疾患はなく、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

#### 【インフルエンザ】

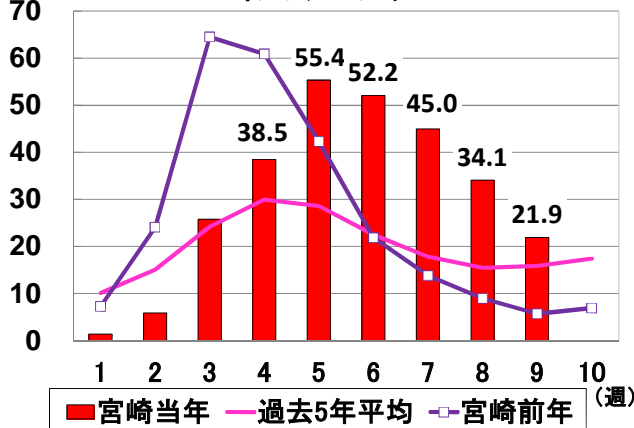
・報告数は1,292人（21.9）で前週比64%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値（15.9）の約1.4倍である。延岡（32.6）・中央（31.0）保健所からの報告が多い。年齢分布を（図）に示す。

（図）インフルエンザ年齢分布

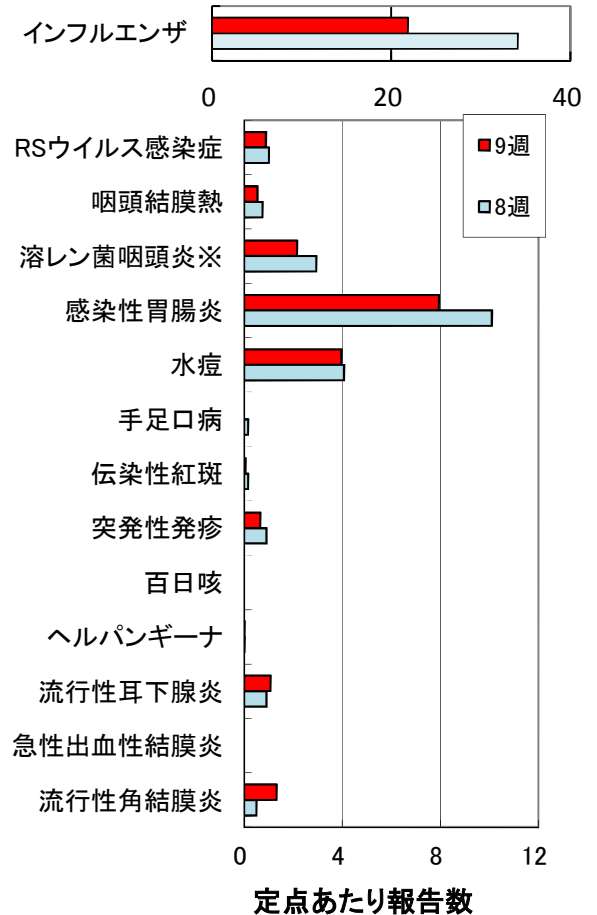


(人/定点)

インフルエンザ



《前週との比較》



※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

### ★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：都城（1人）保健所から報告された。患者は7歳で、病原体は *Mycoplasma pneumoniae* であった。

□ 流行警報開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	インフルエンザ(32.6)、水痘(7.8)
日南	なし
小林	水痘(7.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	インフルエンザ(31.0)

流行警報開始基準値:インフルエンザ(30.0)、水痘(7.0)

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。  
 2 類感染症 : 結核 7 例。  
 3 類感染症・4 類感染症・5 類感染症 : 報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状
2類	結核	宮崎市	80 歳代	肺結核	発熱、呼吸困難
			80 歳代	その他の結核（結核性胸膜炎）	胸痛、呼吸困難
			90 歳代	肺結核	痰
		都城	60 歳代	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
		延岡	70 歳代	肺結核	咳、発熱
		日南	80 歳代	肺結核	痰、呼吸困難
		高鍋	30 歳代	無症状病原体保有者	—

■ 病原体情報（衛生環境研究所微生物部）

- 細菌 報告なし。

□ ウイルス（平成24年2月21日～3月5日までに検出）

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
アデノウイルス5型	4	女	1.23	急性脳症(インフルエンザA型)、40.0℃、熱性けいれん、上気道炎、意識障害	便	3.5
インフルエンザB型	9	男	2.17	インフルエンザB型、39.5℃	咽頭ぬぐい液	3.2
インフルエンザAH3型	29	女	1.26	インフルエンザA型、発熱、関節痛、筋肉痛、咳、痰、鼻水	鼻汁	3.1
インフルエンザAH3型	58	女	1.27	インフルエンザA型、38.9℃、関節痛、筋肉痛	鼻汁	3.1
インフルエンザAH3型	24	男	1.3	インフルエンザA型、38.3℃、筋肉痛、咽頭痛、下痢、咳、痰	鼻汁	3.1
インフルエンザAH3型	10	女	2.1	インフルエンザA型、38.9℃、筋肉痛、上気道炎	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	1	女	2.1	インフルエンザA型、39.1℃、上気道炎	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	3	女	2.1	インフルエンザA型、39.2℃、上気道炎、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	8	女	2.1	インフルエンザA型、発熱、関節痛、筋肉痛、上気道炎	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	13	女	2.2	インフルエンザA型、38.8℃、上気道炎(咽頭痛)	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	4	男	2.1	インフルエンザA型、38.6℃、筋肉痛、上気道炎	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	7	男	2.2	インフルエンザA型、39.7℃、上気道炎、鼻汁、咳	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	12	男	2.3	インフルエンザA型、38.0℃	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	9	男	2.3	インフルエンザA型、37.8℃	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	8	男	2.3	インフルエンザA型、38.2℃、上気道炎、咳	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	58	女	1.31	インフルエンザA型、38.5℃、咳、鼻、頭痛	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	60	男	2.2	インフルエンザA型、39.2℃	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	50	男	2.3	インフルエンザA型、38.4℃、関節痛、咽頭痛、咳、頭痛、悪寒	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	50	男	2.3	インフルエンザA型、38.0℃、筋肉痛	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	67	男	2.4	インフルエンザA型、39.6℃、関節痛、筋肉痛、咽頭痛	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	61	女	2.6	インフルエンザA型、38.9℃、咽頭痛、倦怠感、咳	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	62	女	2.6	インフルエンザA型、39.4℃、倦怠感、食思低下	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	79	男	2.7	インフルエンザA型、38.5℃、上気道炎(咽頭炎)	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	11	女	2.3	インフルエンザA型、発熱、上気道炎(咽頭痛)、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	12	女	2.5	インフルエンザA型、38.9℃、上気道炎(咽頭痛)	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	1	男	2.6	インフルエンザA型、38.4℃、上気道炎	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	5	女	2.6	インフルエンザA型、38.8℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	3.2
インフルエンザAH3型	8	女	2.7	インフルエンザA型、38.7℃、関節痛、筋肉痛、上気道炎、咳	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	90	女	2.7	インフルエンザA型、37.2℃、咽頭痛	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	75	女	2.7	インフルエンザA型、38.2℃、鼻汁、咳、頭痛	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	56	男	2.9	インフルエンザA型、38.2℃、関節痛、咽頭痛、咳、痰	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	40	男	2.9	インフルエンザA型、38.0℃、咽頭痛	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	4	女	2.1	インフルエンザA型、39.8℃、熱性けいれん	咽頭ぬぐい液	3.2
インフルエンザAH3型	31	男	2.13	インフルエンザA型、38.3℃、関節痛、筋肉痛、咽頭痛、痰、咳、悪寒	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	33	女	2.16	インフルエンザA型、38.5℃	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	5	女	2.15	インフルエンザA型、40.0℃	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型	27	男	2.17	インフルエンザA型、38.9℃、咳、痰、頭痛	鼻汁	3.2
インフルエンザAH3型※	1	女	2.22	インフルエンザA型、けいれん重積、39.0℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2.23
インフルエンザAH3型※	68	男	2.2	インフルエンザA型、感染症・肺炎・R/0インフルエンザ肺炎、発熱、下気道炎(肺炎)	肺胞洗浄液	3.2

※検体からのPCRで検出（2検体）

○急性脳症と診断された小児の便からアデノウイルス5型が分離された。また、この患者の咽頭ぬぐい液からは、PCRにてインフルエンザAH3型が検出された（2/6）。

○インフルエンザA型と診断された成人19名と小児18名からインフルエンザウイルスAH3型が分離された。これらの分離株はいずれも力価が低く、ワクチン株との抗原性の比較（HI試験）を実施することができなかった。力価の低いAH3型分離株は他県でもみられている。また、一部はワクチン株に対して反応性が低下しており、抗原性の変化が推測されるとの報告もある。

○インフルエンザB型と診断された小児1名からインフルエンザウイルスB型が分離された。この分離株は、HI試験でワクチン株に対し2倍の差がみられた。HI試験では、ワクチン株に対し8倍以上の差がある場合に変異株であることが推測され、ワクチンの接種効果が期待できないが、この分離株はワクチン株との差は8倍以内であったため、変異株とは考えられない。

## ■ 全国第8週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は43.4で、前週比86%と減少した。今週大きく増加した主な疾患はなく、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

インフルエンザの報告数は143,267人(29.0)で、前週比82%と減少した。埼玉県(45.3)、秋田県(44.2)、大分県(41.4)からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の31%、6歳から9歳が29%、10歳から14歳が17%、15歳から19歳が3%、20歳から59歳が16%、60歳以上が4%を占めた。

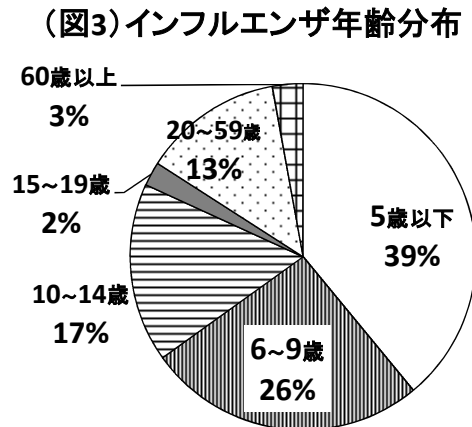
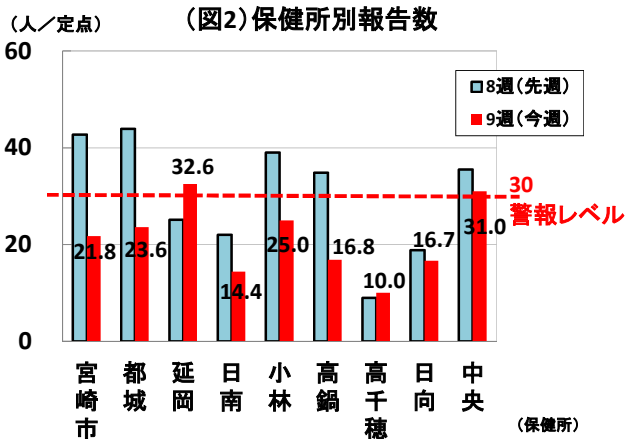
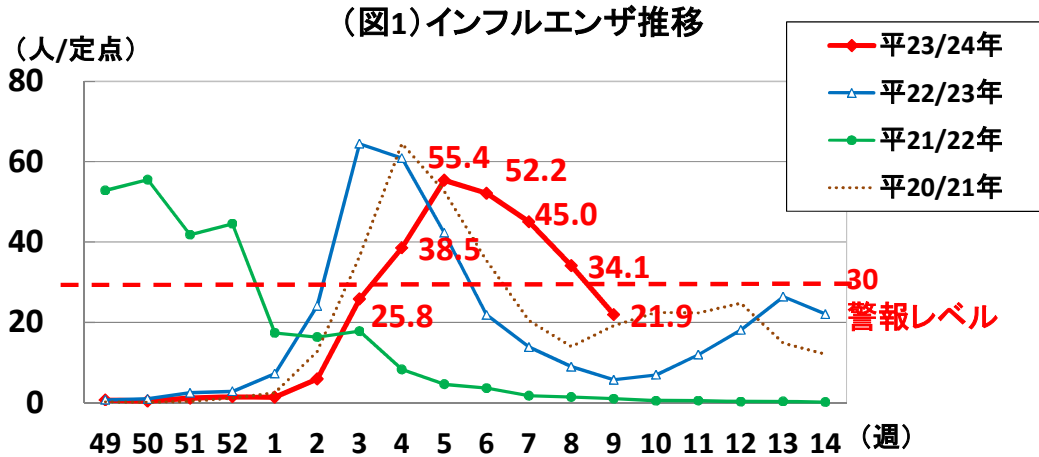
### □ 全数把握対象疾患

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	333例				
3類感染症	細菌性赤痢	4例	腸管出血性大腸菌感染症	10例	腸チフス	1例
	パラチフス	1例				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	2例	つつが虫病	1例
	デング熱	1例	レジオネラ症	11例		
5類感染症	アメーバ赤痢	10例	急性脳炎	8例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例	後天性免疫不全症候群	11例	髄膜炎菌性髄膜炎	1例
	梅毒	16例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2例	風しん	3例
	麻しん	9例				

## ■ インフルエンザ情報《県内第9週、全国第8週（再掲）》

### □ 県内9週インフルエンザ発生動向

平成24年2月27日～3月4日までの1週間で1,292人（定点あたり21.9）の報告があり、前週の約6割に減少した（図1）。延岡（32.6）・中央（31.0）保健所からの報告が多い（図2）。年齢分布を（図3）に示す。



### インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

○: 警報レベル、△: 注意報レベル、— 警報・注意報レベルなし

保健所	今週 (9週)		1週前 (8週)		2週前 (7週)		3週前 (6週)		4週前 (5週)		5週前 (4週)	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎県全体	21.9	○	34.1	○	45.0	○	52.2	○	55.4	○	38.5	○
宮崎市	21.8	△	42.7	○	61.4	○	69.0	○	65.0	○	37.6	○
都城	23.6	△	43.9	○	59.3	○	60.0	○	77.4	○	41.2	○
延岡	32.6	○	25.1	△	31.4	○	55.7	○	50.9	○	37.1	○
日南	14.4	△	22.0	△	32.2	○	42.4	○	47.8	○	47.6	○
小林	25.0	△	39.0	○	39.4	○	55.4	○	66.4	○	70.6	○
高鍋	16.8	△	34.8	○	50.8	○	48.2	○	52.2	○	27.5	△
高千穂	10.0	△	9.0	—	5.5	—	11.0	△	24.0	△	24.0	△
日向	16.7	△	18.8	△	21.5	△	22.0	△	23.8	△	21.0	△
中央	31.0	○	35.5	○	28.0	△	25.5	△	21.5	△	36.5	○

### □ 全国第8週インフルエンザ発生動向

平成24年2月20日～2月26日までの1週間で143,267人（29.0）の報告があり、前週比82%と減少した。埼玉県（45.3）、秋田県（44.2）、大分県（41.4）からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の31%、6歳から9歳が29%、10歳から14歳が17%、15歳から19歳が3%、20歳から59歳が16%、60歳以上が4%を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2012年 第09週(02月27日～03月04日)

疾病名		第8週	第9週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2014	1292	348	236	228	72	125	101	20	100	62
	定点あたり	34.14	21.90	21.75	23.60	32.57	14.40	25.00	16.83	10.00	16.67	31.00
RSウイルス 感染症	報告数	37	32	5	6	6					14	1
	定点あたり	1.03	0.89	0.50	1.00	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	3.50	1.00
咽頭結膜熱	報告数	27	20	2	2	8	7				1	
	定点あたり	0.75	0.56	0.20	0.33	2.00	2.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	106	78	10	4	27	9	3	7	1	15	2
	定点あたり	2.94	2.17	1.00	0.67	6.75	3.00	1.00	1.75	1.00	3.75	2.00
感染性胃腸炎	報告数	364	286	46	54	29	46	57	22	1	28	3
	定点あたり	10.11	7.94	4.60	9.00	7.25	15.33	19.00	5.50	1.00	7.00	3.00
水痘	報告数	147	143	26	23	31	9	21	16	2	14	1
	定点あたり	4.08	3.97	2.60	3.83	7.75	3.00	7.00	4.00	2.00	3.50	1.00
手足口病	報告数	6										
	定点あたり	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	6	2								2	
	定点あたり	0.17	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
突発性発しん	報告数	33	24	2	2	6	1	4	4		5	
	定点あたり	0.92	0.67	0.20	0.33	1.50	0.33	1.33	1.00	0.00	1.25	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	1								1	
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	33	39	9	4	1	6	7	9	2		1
	定点あたり	0.92	1.08	0.90	0.67	0.25	2.00	2.33	2.25	2.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	8	6	2							
	定点あたり	0.50	1.33	2.00	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1		1							
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2012年第1週～9週)

2類感染症	結核	42例(7)									
4類感染症	つつが虫病	12例									
5類感染症	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	5例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例					
	後天性免疫不全症候群	1例									

( )内は今週届出分、再掲